

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

肺がんは、がん死亡者の中で最も多いがんです。肺がんであっても、症状が出ないことはよくありますが、検診での発見で早期に治療をすれば、**80%以上が助かります\***。また、一部の肺がんは、**増殖が早く転移しやすい**ため、早期発見が重要です。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・質問（問診）
- ・胸部X線検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

肺がん  
肺がん以外の病気

治療

異常なし

年1回  
定期的ながん検診

## 主な精密検査の内容

### CT検査

胸部エックス線検査で病変が疑われた部位の断面図を撮影し、肺にがんがないかを画像で確認します。



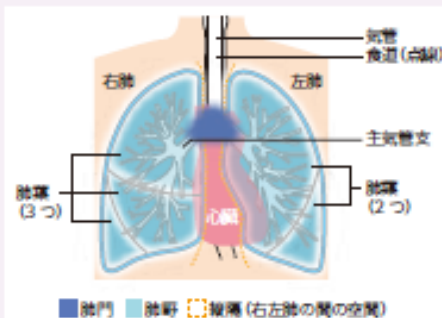
### 気管支鏡検査

気管支鏡（直径 5mm ほどの細い内視鏡）を口や鼻から挿入し、気管支の中を観察します。病変が疑われる部分の細胞や組織を採取し、がんの有無について調べます。



## 肺がんとは

肺がんは、気管支や肺胞の細胞がなんらかの原因でがん化したものです。肺がんは喫煙との関連が大きく、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほどそのリスクが高くなります。ただし、喫煙が原因ではない肺がんもあり、非喫煙者も注意が必要です。



## お問合せ先

調布市健康推進課  
電話:042-441-6100  
FAX:042-441-6101  
Mail: kenkou@city.chofu.lg.jp